

大学図書館研究会・群馬県図書館協会専門研修

(群馬県大学図書館協議会・群馬県図書館協会 共催)

○平成25年度第1回

テーマ：「電子コンテンツの動向」

日時：平成25年9月12日（木）13時30分～16時30分

場所：群馬大学理工学図書館 多目的ホール

参加者：41名（大学図書館17名、公立図書館13名、高校図書館11名）

講演：「電子コンテンツの動向 本と図書館の未来を考える」

専修大学文学部人文・ジャーナリズム学科 教授 植村 八潮 氏

【概要】2010年の電子書籍ブーム以来、「電子書籍」という言葉が一般化して、今では特別の注釈なく用いられている。市場創出や利便性の向上という点からも新たな世界に期待が高まっている。では、長い間、印刷書籍が果たしてきた役割は、電子に置き換わっていくのだろうか。学術情報流通に加え、教科書など教育における役割はどうなっていくのか。環境変化の中で図書館に期待される役割とは何か。電子コンテンツの中でも電子書籍を中心に、本と図書館の未来について考えてみたい。



(会場・理工学図書館)



(末松大学図書館協議会長)



(植村講師)



(講義風景)



参加者の意見等

「参考になった」「専門的な分野の話聞いてよかった」との感想が多く概ね好評であったが、中には「難しかった」「勉強不足を感じた」など、やや高度な内容と感じた受講者もいたようです。講師については、「身近な話題と重ねて話され、わかりやすかった」「話し方を含めて面白く聞いた」との好意的な意見が多く寄せられました。内容としては、「それぞれの国における背景などを知ることによって、電子コンテンツをめぐる動向を興味深く面白いと感じることができた」「ペーパーメディアではなくなるが文字は残る、というのは大変印象的だった」との感想があり、電子コンテンツに対して新しい視点を得た受講者もいたようです。講演終了後には理工学図書館の見学が行なわれ、ラーニングcommonsや改修後の利用状況について多くの質問が寄せられました。